

# 第4章 今から愛媛の道づくりが目指すみち

## 2. これからの愛媛の道づくり - 基本方向・整備施策

### 交流・活力・快適えひめをめざして

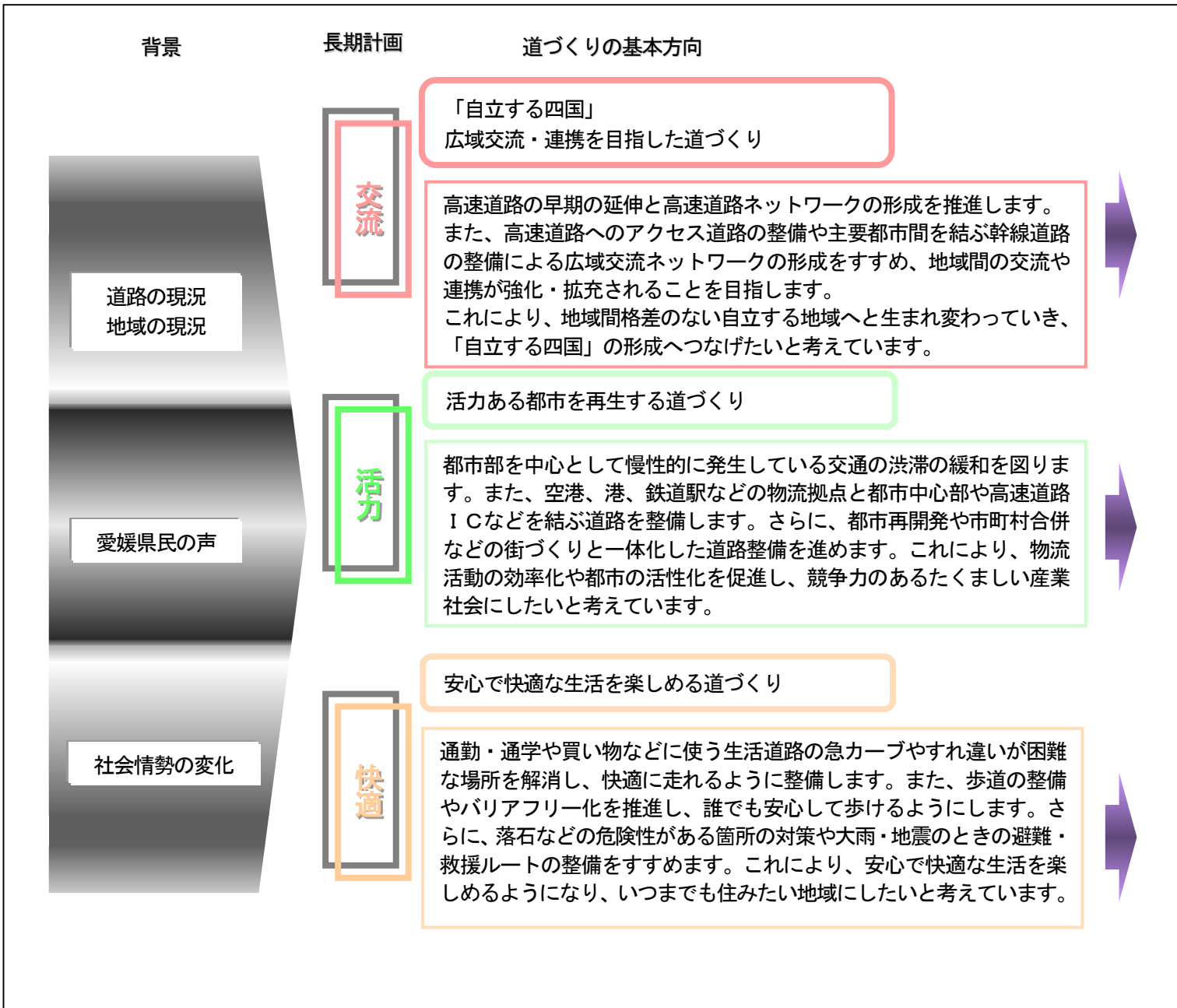
愛媛の道路が抱える様々な課題を解決した先に見える愛媛の姿は、県が掲げる長期計画で目指している姿と一致することがわかりました。そこで、一致した「交流」「活力」「快適」の3項目が愛媛の道路整備が目指していくべきキーワードと考え、愛媛県の道づくりの基本方向を定めました。

一つめの基本方向は「交流」をキーワードに『「自立する四国」広域交流・連携をめざした道づくり』としました。広域交流ネットワークを整備し地域間の交流や連携の強化・拡充を図ることで、地域間に格差のない自立する地域に生まれ変わることを目指し、「自立する四国」の形成へとつなげます。

二つめの基本方向は「活力」をキーワードに『活力ある都市を再生する道づくり』としました。都市内の道路を整備して渋滞の解消や物流拠点の連絡を図るとともに街づくりと一体化した道路の整備を進めて、物流を効率化させ都市を活性化させることにより競争力あるたくましい産業社会の創造を目指します。

三つめの基本方向は「快適」をキーワードに『安心で快適な生活を楽しめる道づくり』としました。普段、利用する生活道路の急カーブやすれ違いが困難な区間を整備し、気軽に歩けるように歩道を整備し、さらに救急や災害救助に役立つ道路の走行性を高めることで、安心で快適な生活環境を創りだし、いつまでも住みたいと思う地域づくりを目指します。

### ●愛媛の道づくりのビジョンと評価指標



整備施策

「誇れる愛媛」を実現するため、3つの基本方向のそれぞれについて具体的な整備施策を掲げました。

まず、県内外の交流を促進し「自立する四国」を目指すための整備施策として「四国8の字ルートの形成」「広域道路ネットワークの整備」の2項目を掲げました。次に、地域の活力を向上し都市再生を目指すための整備施策として「都市環状道路等の整備」「魅力ある街づくりと連携した道路整備」の2項目を掲げました。そして、安心して快適な生活の達成を目指すための整備施策として「いつも利用の生活基盤道路の整備」「災害にそなえる道路の整備」「歩いてやさしい道路の整備」の3項目を掲げました。

わかりやすい項目で成果を評価

今までの道路整備でも、道路が抱える問題を解消し様々な効果を生みだしてきました。しかし、愛媛県全体で見た場合には、道路の整備は改良率などの整備量で示され、どれだけの問題を解消しどれだけの効果を生みだしてきたかという視点での評価はあまり行われていませんでした。

これからは、道路整備がもたらす様々な成果をわかりやすい指標を用いて評価をすることで、道路整備が県民生活や社会にとってどのように貢献しているのかを明らかにし、無駄のない道路整備を進めていきます。

